

【14】平成30年度 大学院シラバス

<p>専攻分野/コース (英文名)</p>	<p>内科学(循環器内科) (Cardiology)</p>
<p>研究指導教員</p>	<p>明 石 嘉 浩</p>
<p>研究・教育の概略</p>	<p>循環器疾患は緊急の状況が多く、指導医や研修医なども加わり、チーム医療が必要とされる。そのため責任をもって一員として加わり、上級医の指示、指導ももに適切な医療をすすめていくことが大切である。そのために必要な知識や技術を系統的に理解し、実践できるようにすることが目的となる。</p> <p>午前中は循環器疾患における病態、症候、診断法、治療法などを、臨床の現場で経験した症例より学び、午後では各疾患における循環器特有の診断法、画像診断、カテーテル検査などを学ぶようにした。また循環器疾患は全身疾患の一環として発症することも少なくないので、全身疾患を系統的に見ることが可能なようにカリキュラムを設定した。</p> <p>また医学特論では循環器の臨床的なエキスパートを学外から呼び、アップデートな実践的な話をしてもらう予定である。</p> <p>それらの習得した知識により収集した情報から問題点を抽出し、個々の情報に意味づけをして優先順位を考慮した診断、治療計画がたてられるようになれるよう教育していく。</p>
<p>研究項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 冠動脈画像及び機能診断(IVUS、OCT、FFR)の研究 2. 心房細動への三次元マッピングシステムによる新しい治療法の研究 3. 心臓超音波における心機能解析に関する研究 4. 慢性心不全患者の運動療法に関する研究 5. 循環器疾患と睡眠時無呼吸症候群の研究 6. 肺高血圧症の診断方法に関する研究
<p>準備学習(予習・復習)</p>	<p>カンファレンス前後では、経験する疾患の治療ガイドラインを確認する。虚血性心疾患に関しては、心電図、エコー、核医学、CT、MRI等の非侵襲的検査の組み合わせ方と、心臓カテーテル検査に至るまでの選択方法を学ぶ。不整脈疾患に関しては、心電図の読み方、そこから予想される不整脈起源、診断と治療法に関して学ぶ。心不全に関しては急性期と慢性期の違いの理解、急性心不全における血行動態の評価と管理方法を学び、慢性期には内服薬の使い方と心移植への橋渡しに関して学ぶ。</p>

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(1)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器病態学(Ⅰ)		必修/選択 必修
担当教員	宮崎秀和	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	1年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の病態を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して病態を理解し管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について病態を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた管理を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓢ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓢ)
1	心疾患へのアプローチの仕方①	1	循環器疾患 心電図の役割について①
2	心疾患へのアプローチの仕方②	2	循環器疾患 心電図の役割について②
3	心疾患へのアプローチの仕方③	3	心電図の装着法について ①
4	循環器疾患の症候①	4	心電図の装着法について ②
5	循環器疾患の症候②	5	モニター心電図でわかること ①
6	循環器疾患の身体所見 視診	6	モニター心電図でわかること ②
7	循環器疾患の身体所見 触診	7	徐脈性不整脈とは ①
8	循環器疾患の身体所見 聴診①	8	徐脈性不整脈とは ②
9	循環器疾患の身体所見 聴診②	9	頻脈性不整脈とは ①
10	循環器疾患の身体所見 聴診③	10	頻脈性不整脈とは ②
11	循環器疾患の身体所見 打診	11	虚血性心疾患の心電図 ①
12	循環器疾患の身体所見 まとめ	12	虚血性心疾患の心電図 ②
13	循環器疾患の間診の取り方①	13	弁膜症の心電図
14	循環器疾患の間診の取り方②	14	心筋症の心電図
15	循環器疾患のOSCEによる評価	15	大動脈疾患の診断について

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(2)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器病態学(Ⅱ)		必修/選択 必修
担当教員	明石嘉浩	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	2年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の病態を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して病態を理解し管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について病態を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた管理を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓢ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓢ)
1	心疾患へのアプローチの仕方①	1	循環器疾患 心電図の役割について①
2	心疾患へのアプローチの仕方②	2	循環器疾患 心電図の役割について②
3	心疾患へのアプローチの仕方③	3	心電図の装着法について ①
4	循環器疾患の症候①	4	心電図の装着法について ②
5	循環器疾患の症候②	5	モニター心電図でわかること ①
6	循環器疾患の身体所見 視診	6	モニター心電図でわかること ②
7	循環器疾患の身体所見 触診	7	徐脈性不整脈とは ①
8	循環器疾患の身体所見 聴診①	8	徐脈性不整脈とは ②
9	循環器疾患の身体所見 聴診②	9	頻脈性不整脈とは ①
10	循環器疾患の身体所見 聴診③	10	頻脈性不整脈とは ②
11	循環器疾患の身体所見 打診	11	虚血性心疾患の心電図 ①
12	循環器疾患の身体所見 まとめ	12	虚血性心疾患の心電図 ②
13	循環器疾患の間診の取り方①	13	弁膜症の心電図
14	循環器疾患の間診の取り方②	14	心筋症の心電図
15	循環器疾患のOSCEによる評価	15	大動脈疾患の診断について

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(3)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器症候学(Ⅰ)		必修/選択 必修
担当教員	明石嘉浩	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	1年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の症状を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して症状を理解し管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について症候を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の症候に基づいた診断、治療を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓜ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓜ)
1	虚血性心疾患の症候のとりえ方①	1	循環器疾患と浮腫 ①
2	虚血性心疾患の症候のとりえ方②	2	循環器疾患と浮腫 ②
3	不整脈の症候のとりえ方①	3	循環器疾患と動悸 ①
4	不整脈の症候のとりえ方②	4	循環器疾患と動悸 ②
5	弁膜症の症候のとりえ方①	5	循環器疾患と呼吸困難 ①
6	弁膜症の症候のとりえ方②	6	循環器疾患と呼吸困難 ②
7	心筋症の症候のとりえ方①	7	循環器疾患と胸痛 ①
8	心筋症の症候のとりえ方②	8	循環器疾患と胸痛 ②
9	大動脈疾患の症候のとりえ方①	9	循環器疾患とチアノーゼ
10	大動脈疾患の症候のとりえ方②	10	循環器疾患と血圧異常 ①
11	肺循環障害の症候のとりえ方	11	循環器疾患と血圧異常 ②
12	左心不全の症候のとりえ方①	12	循環器疾患と脈拍異常 ①
13	左心不全の症候のとりえ方②	13	循環器疾患と脈拍異常 ②
14	右心不全の症候のとりえ方①	14	循環器疾患と失神 ①
15	左心不全の症候のとりえ方②	15	循環器疾患と失神 ②

講義担当者承認

Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(4)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器症候学(Ⅱ)		必修/選択 必修
担当教員	原田智雄	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	2年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の症状を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して症状を理解し管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について症候を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の症候に基づいた診断、治療を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓢ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓢ)
1	虚血性心疾患の症候のとりえ方①	1	循環器疾患と浮腫 ①
2	虚血性心疾患の症候のとりえ方②	2	循環器疾患と浮腫 ②
3	不整脈の症候のとりえ方①	3	循環器疾患と動悸 ①
4	不整脈の症候のとりえ方②	4	循環器疾患と動悸 ②
5	弁膜症の症候のとりえ方①	5	循環器疾患と呼吸困難 ①
6	弁膜症の症候のとりえ方②	6	循環器疾患と呼吸困難 ②
7	心筋症の症候のとりえ方①	7	循環器疾患と胸痛 ①
8	心筋症の症候のとりえ方②	8	循環器疾患と胸痛 ②
9	大動脈疾患の症候のとりえ方①	9	循環器疾患とチアノーゼ
10	大動脈疾患の症候のとりえ方②	10	循環器疾患と血圧異常 ①
11	肺循環障害の症候のとりえ方	11	循環器疾患と血圧異常 ②
12	左心不全の症候のとりえ方①	12	循環器疾患と脈拍異常 ①
13	左心不全の症候のとりえ方②	13	循環器疾患と脈拍異常 ②
14	右心不全の症候のとりえ方①	14	循環器疾患と失神 ①
15	左心不全の症候のとりえ方②	15	循環器疾患と失神 ②

講義担当者承認 ㊞

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(5)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器診断学(Ⅰ)		必修/選択 必修
担当教員	明石嘉浩	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	1年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の診断戦略を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して診断方法について理解し、管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について診断方法を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた診断戦略を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Disease を用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓞ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓞ)
1	循環器疾患と心電図 ①	1	Brugada 症候群の診断について
2	循環器疾患と心電図 ②	2	WPW 症候群の診断について
3	循環器疾患と心電図 ③	3	脚ブロックの診断について
4	循環器疾患の胸部単純写真 ①	4	虚血性心疾患の診断法について
5	循環器疾患の胸部単純写真 ②	5	弁膜症の診断方法について
6	徐脈性不整脈の診断方法 ①	6	心臓超音波検査でどこまでわかるか
7	徐脈性不整脈の診断方法 ②	7	心臓超音波検査でわからないこと
8	頻脈性不整脈の診断方法 ①	8	M モード法でわかること
9	頻脈性不整脈の診断方法 ②	9	B モード法でわかること
10	心電図 P 波からなにがわかるか	10	ドップラー法でわかること
11	心電図 QRS 波からなにがわかるか	11	経食道エコーでわかること
12	心電図 T 波からなにがわかるか	12	心疾患と CT 検査
13	心電図 ST 部分からなにがわかるか	13	大動脈疾患の診断方法
14	心電図 U 波からなにがわかるか	14	肺循環障害の診断方法
15	心電図 QT からなにがわかるか	15	心疾患と MRI 検査

講義担当者承認

Ⓞ

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(6)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器診断学(Ⅱ)		必修/選択 必修
担当教員	原田智雄	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	2年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の診断戦略を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して診断方法について理解し、管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について診断方法を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた診断戦略を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Disease を用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓞ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓞ)
1	循環器疾患と心電図 ①	1	Brugada 症候群の診断について
2	循環器疾患と心電図 ②	2	WPW 症候群の診断について
3	循環器疾患と心電図 ③	3	脚ブロックの診断について
4	循環器疾患の胸部単純写真 ①	4	虚血性心疾患の診断法について
5	循環器疾患の胸部単純写真 ②	5	弁膜症の診断方法について
6	徐脈性不整脈の診断方法 ①	6	心臓超音波検査でどこまでわかるか
7	徐脈性不整脈の診断方法 ②	7	心臓超音波検査でわからないこと
8	頻脈性不整脈の診断方法 ①	8	M モード法でわかること
9	頻脈性不整脈の診断方法 ②	9	B モード法でわかること
10	心電図 P 波からなにがわかるか	10	ドップラー法でわかること
11	心電図 QRS 波からなにがわかるか	11	経食道エコーでわかること
12	心電図 T 波からなにがわかるか	12	心疾患と CT 検査
13	心電図 ST 部分からなにがわかるか	13	大動脈疾患の診断方法
14	心電図 U 波からなにがわかるか	14	肺循環障害の診断方法
15	心電図 QT からなにがわかるか	15	心疾患と MRI 検査

講義担当者承認

Ⓞ

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(7)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器治療学(Ⅰ)		必修/選択 必修
担当教員	木田圭亮	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	1年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の治療内容を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して治療方法について理解し管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について治療方法を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた治療を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席⑩)	後期(回)	内 容 (出席⑩)
1	循環器疾患の治療法の基本について	1	頻脈性不整脈のカテーテル治療 ①
2	虚血性心疾患の治療の基本	2	頻脈性不整脈のカテーテル治療 ②
3	虚血性心疾患の薬物療法 ①	3	頻脈性不整脈のカテーテル治療 ③
4	虚血性心疾患の薬物療法 ②	4	徐脈性不整脈の薬物療法 ①
5	虚血性心疾患の薬物療法 ③	5	徐脈性不整脈の薬物療法 ②
6	虚血性心疾患のカテーテル治療 ①	6	徐脈性不整脈のカテーテル治療 ①
7	虚血性心疾患のカテーテル治療 ②	7	徐脈性不整脈のカテーテル治療 ②
8	虚血性心疾患のカテーテル治療 ③	8	除細動について ①
9	虚血性心疾患の非薬物療法 ①	9	除細動について ②
10	虚血性心疾患の非薬物療法 ②	10	ショック治療の基本的考えかた ①
11	虚血性心疾患の非薬物療法 ③	11	ショックの治療の基本的考えかた ②
12	不整脈疾患の治療の基本	12	致死的不整脈の薬物治療 ①
13	頻脈性不整脈の薬物療法 ①	13	致死的不整脈の薬物治療 ②
14	頻脈性不整脈の薬物療法 ②	14	致死的不整脈の非薬物療法 ①
15	頻脈性不整脈の薬物療法 ③	15	致死的不整脈の非薬物療法 ②

講義担当者承認 ⑩

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(8)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器治療学(Ⅱ)		必修/選択 必修
担当教員	石橋祐記	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	1年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の治療内容を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して治療方法について理解し管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について治療方法を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた治療を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席㊟)	後期(回)	内 容 (出席㊟)
1	心不全の治療の基本的考えかた ①	1	弁膜症の最近の動向 ①
2	心不全の治療の基本的考えかた ②	2	弁膜症の最近の動向 ②
3	心不全の薬物治療 ①	3	弁膜症と薬物治療 ①
4	心不全の薬物治療 ②	4	弁膜症と薬物治療 ②
5	心不全の薬物治療 ③	5	大動脈弁狭窄症の治療戦略 ①
6	心不全の非薬物療法について ①	6	大動脈弁狭窄症の治療戦略 ②
7	心不全の非薬物療法について ②	7	大動脈弁閉鎖不全の治療戦略 ①
8	急性心不全と慢性心不全の違い ①	8	大動脈弁閉鎖不全の治療戦略 ②
9	急性心不全と慢性心不全の違い ②	9	僧帽弁狭窄症の治療戦略 ①
10	急性心不全の治療計画法 ①	10	僧帽弁狭窄症の治療戦略 ②
11	急性心不全の治療計画法 ②	11	僧帽弁閉鎖不全の治療戦略 ①
12	慢性心不全の治療計画法 ①	12	僧帽弁閉鎖不全の治療戦略 ②
13	慢性心不全の治療計画法 ②	13	感染性心内膜炎の治療戦略 ①
14	心不全と心臓リハビリテーション ①	14	感染性心内膜炎の治療戦略 ②
15	心不全と心臓リハビリテーション ②	15	収縮性心膜炎の治療戦略

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(9)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器治療学(Ⅲ)		必修/選択 必修
担当教員	田邊康宏	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	2年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の治療内容を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して治療方法について理解し管理方法を検討する		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について治療方法を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた治療を計画できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓜ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓜ)
1	循環器疾患の治療法の基本について	1	頻脈性不整脈のカテーテル治療 ①
2	虚血性心疾患の治療の基本	2	頻脈性不整脈のカテーテル治療 ②
3	虚血性心疾患の薬物療法 ①	3	頻脈性不整脈のカテーテル治療 ③
4	虚血性心疾患の薬物療法 ②	4	徐脈性不整脈の薬物療法 ①
5	虚血性心疾患の薬物療法 ③	5	徐脈性不整脈の薬物療法 ②
6	虚血性心疾患のカテーテル治療 ①	6	徐脈性不整脈のカテーテル治療 ①
7	虚血性心疾患のカテーテル治療 ②	7	徐脈性不整脈のカテーテル治療 ②
8	虚血性心疾患のカテーテル治療 ③	8	除細動について ①
9	虚血性心疾患の非薬物療法 ①	9	除細動について ②
10	虚血性心疾患の非薬物療法 ②	10	ショック治療の基本的考えかた ①
11	虚血性心疾患の非薬物療法 ③	11	ショックの治療の基本的考えかた ②
12	不整脈疾患の治療の基本	12	致死的不整脈の薬物治療 ①
13	頻脈性不整脈の薬物療法 ①	13	致死的不整脈の薬物治療 ②
14	頻脈性不整脈の薬物療法 ②	14	致死的不整脈の非薬物療法 ①
15	頻脈性不整脈の薬物療法 ③	15	致死的不整脈の非薬物療法 ②

講義担当者承認 Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(10)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)	
講義題目	循環器治療学(IV)		必修/選択	必修
担当教員	米山喜平	担当教員連絡先	内線 3313	
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患の治療内容を把握する			
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して治療方法について理解し管理方法を検討する			
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について治療方法を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた治療を計画できる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Disease を用いて予習・復習を行う。1時間			
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する			
講義内容				
前期(回)	内 容 (出席Ⓜ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓜ)	
1	心不全の治療の基本的考えかた ①	1	弁膜症の最近の動向 ①	
2	心不全の治療の基本的考えかた ②	2	弁膜症の最近の動向 ②	
3	心不全の薬物治療 ①	3	弁膜症と薬物治療 ①	
4	心不全の薬物治療 ②	4	弁膜症と薬物治療 ②	
5	心不全の薬物治療 ③	5	大動脈弁狭窄症の治療戦略 ①	
6	心不全の非薬物療法について ①	6	大動脈弁狭窄症の治療戦略 ②	
7	心不全の非薬物療法について ②	7	大動脈弁閉鎖不全の治療戦略 ①	
8	急性心不全と慢性心不全の違い ①	8	大動脈弁閉鎖不全の治療戦略 ②	
9	急性心不全と慢性心不全の違い ②	9	僧帽弁狭窄症の治療戦略 ①	
10	急性心不全の治療計画法 ①	10	僧帽弁狭窄症の治療戦略 ②	
11	急性心不全の治療計画法 ②	11	僧帽弁閉鎖不全の治療戦略 ①	
12	慢性心不全の治療計画法 ①	12	僧帽弁閉鎖不全の治療戦略 ②	
13	慢性心不全の治療計画法 ②	13	感染性心内膜炎の治療戦略 ①	
14	心不全と心臓リハビリテーション ①	14	感染性心内膜炎の治療戦略 ②	
15	心不全と心臓リハビリテーション ②	15	収縮性心膜炎の治療戦略	

講義担当者承認 (印)

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(11)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器疾患特論実習		必修/選択 必修
担当教員	長田尚彦	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	1 単位(前期・後期)	履修年次	1年
テーマと目的	症例に基づいて、循環器の専門的な知識を深める		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して、循環器に特有の検査、診断、治療についての知識を習得すること		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患に対して行われる診断技術を理解できる 2. 基本的な循環器疾患に対して行われる治療技術を理解できる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Disease を用いて予習・復習を行う。 1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓜ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓜ)
1	心臓カテーテル検査の実際について	1	カテーテル治療について
2	心臓カテーテル検査の合併症について	2	バルーンのための拡張について(POBA)
3	スパズム誘発検査	3	ステント治療について
4	冠動脈内エコー検査について	4	DES 治療について
5	核医学検査について ①	5	カテーテル治療と抗血小板治療
6	核医学検査について ②	6	EPS 検査について
7	運動負荷心電図について ①	7	EPS 検査でわかること
8	運動負荷心電図について ②	8	徐脈性不整脈と EPS
9	ホルター心電図検査について ①	9	頻脈性不整脈と EPS
10	ホルター心電図検査について ②	10	頻脈性不整脈とアブレーション ①
11	LP 検査とは	11	頻脈性不整脈とアブレーション ②
12	睡眠時無呼吸症候群とは	12	冠動脈 CT 検査について
13	睡眠時無呼吸症候群と心疾患	13	心臓 MRI 検査について
14	睡眠時無呼吸症候群検査方法について	14	閉塞性動脈硬化症について
15	睡眠時無呼吸症候群治療法について	15	閉塞性動脈硬化症の治療法について

講義担当者承認

Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(12)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器疾患と薬物治療各論		必修/選択 選択
担当教員	原 正壽	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	1年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患における薬物治療の実際を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して、薬物治療の実際を説明していく		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について薬物治療の意義を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた薬物治療を実際処方できるようになる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講 義 内 容			
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1	高血圧治療の実際について ①	1	急性心不全とhANP 治療
2	高血圧治療の実際について ②	2	急性心不全とカテコラミン
3	高血圧治療の実際について	3	急性心不全と血管拡張薬
4	高血圧治療における ACE 阻害薬	4	急性心不全のその他の薬剤治療
5	高血圧治療における ARB	5	慢性心不全の ACE 阻害薬
6	高血圧治療における利尿薬	6	慢性心不全の ARB
7	高血圧治療における Ca 拮抗薬	7	慢性心不全の β 遮断薬
8	高血圧治療における β 遮断薬	8	慢性心不全と強心薬
9	高血圧治療におけるその他薬剤	9	慢性心不全のその他の薬剤
10	狭心症治療における ACE 阻害薬	10	抗不整脈薬の使い方について
11	狭心症治療における β 遮断薬	11	上室性不整脈と I 群抗不整脈薬
12	狭心症治療における Ca 拮抗薬	12	上室性不整脈と III 群抗不整脈薬
13	狭心症治療における抗血小板薬	13	心室性不整脈と I 群抗不整脈薬
14	慢性心不全と急性心不全の薬物の差異	14	心室性不整脈と III 群抗不整脈薬
15	急性心不全と利尿薬	15	不整脈治療とジギタリスについて

講義担当者承認 (印)

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(13)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器疾患と画像診断各論		必修/選択 選択
担当教員	長田尚彦	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	2年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患における画像診断の実際を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して、画像診断の実際を説明していく		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患について画像診断の意義を論理的に説明できる 2. 基本的な循環器疾患の病態に基づいた画像診断が適切に予約できるようになる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Diseaseを用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席Ⓜ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓜ)
1	冠動脈造影の基本的読影について ①	1	冠動脈カテーテル治療の実際
2	冠動脈造影の基本的読影について ②	2	冠動脈カテーテル治療の種類について
3	左室造影について	3	冠動脈カテーテル治療と内科治療
4	心内圧曲線の読み方 ①	4	冠動脈カテーテル治療の未来について
5	心内圧曲線の読み方 ②	5	冠動脈 CT の臨床的意義について
6	胸部単純写真の読み方 ①	6	冠動脈疾患とMRI 検査について
7	胸部単純写真の読み方 ②	7	心臓内腫瘍と超音波検査
8	肺塞栓症の胸部 CT 検査の読み方	8	心内血栓と超音波検査
9	大動脈疾患の胸部 CT 検査の読み方	9	先天性心疾患と超音波検査
10	大動脈疾患のMRI 検査の役割について	10	成人の先天性心疾患 ①
11	大動脈疾患の経食道超音波検査	11	成人の先天性心疾患 ②
12	閉塞性動脈硬化症の血管造影検査 ①	12	頸動脈エコーの臨床的意義 ①
13	閉塞性動脈硬化症の血管造影検査 ②	13	頸動脈エコーの臨床的意義 ②
14	閉塞性動脈硬化症の血管超音波検査	14	腎血管性高血圧の画像診断
15	閉塞性動脈硬化症の血管内治療	15	腎血管性高血圧のカテーテル治療

講義担当者承認 Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(14)

講義コード	※	専攻分野	内科学(循環器内科)
講義題目	循環器疾患と全身性疾患特論		必修/選択 選択
担当教員	原 正壽	担当教員連絡先	内線 3313
単位数	2単位(前期1・後期1)	履修年次	2年
テーマと目的	症例に基づいて基本的な循環器疾患における画像診断の実際を把握する		
講義計画	色々な基本的な循環器疾患症例を通して、全身性心疾患を評価できるようになる		
達成目標	1. 基本的な循環器疾患を合併する全身性疾患を説明できる 2. 基本的な循環器疾患に合併する全身性疾患を鑑別でき、診断計画が可能になる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	循環器疾患に関する病態や診断に関して、Braunwald Heart Disease を用いて予習・復習を行う。1時間		
成績評価法	出席とプレゼンテーション内容、態度などを総合的に判断する		
講義内容			
前期(回)	内 容 (出席⑩)	後期(回)	内 容 (出席⑩)
1	動脈硬化とは	1	アルコールと心臓について
2	動脈硬化と冠動脈	2	喫煙と心臓について
3	動脈硬化と全身疾患	3	サルコイドーシスと心疾患 ①
4	動脈硬化を予防するためには ①	4	サルコイドーシスと心疾患 ②
5	動脈硬化を予防するためには ②	5	アミロイドーシスと心疾患 ①
6	糖尿病と心疾患 ①	6	アミロイドーシスと心疾患 ②
7	糖尿病と心疾患 ②	7	甲状腺機能異常と心疾患 ①
8	膠原病と心疾患 ①	8	甲状腺機能異常と心疾患 ②
9	膠原病と心疾患 ②	9	筋ジストロフィー症と心疾患
10	遺伝子異常と心疾患 ①	10	抗ガン剤治療と心疾患
11	遺伝子異常と心疾患 ②	11	ストレスと心疾患
12	心疾患に対する遺伝子治療 ①	12	たこつぼ型心筋症とは ①
13	心疾患に対する遺伝子治療 ②	13	たこつぼ型心筋症とは ②
14	2次性心筋症とは ①	14	内分泌疾患と高血圧
15	2次性心筋症とは ②	15	電解質異常と心疾患

講義担当者承認 ⑩